

未来

筆者は、令和2年度卒業の山口桃佳さん
令和4年11月22日 第7号

新型コロナウイルス感染症により、日本中、世界中が前例のない困難に直面しています。

このような時にでも郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いを抱き、進路実現を果たしてほしいとの願いがあります。「未来をあきらめない」「未来は変えられる」

文責 校長 宗形 俊二

ふくしま駅伝：郡山市の総合優勝に大きく貢献

11月20日（日）に開催された「ふくしま駅伝」では、本校から小澤先生と3年伊藤君が郡山市チームの選手として見事な走りをして、郡山市の10年ぶりの総合優勝（大会新記録）に大きく貢献しました。8区を走った3年伊藤君は、8区間の大会新記録を樹立しましたし、15区を走った小澤先生も区間賞を獲得しました。3年伊藤君は、本校特設駅伝部の部長でもあり福島県駅伝競走大会や東北中学校駅伝競走大会に出場し、各学校のエースが走る1区を力走し、両大会の準優勝に大きく貢献しました。小澤先生は、陸上部の顧問でもあり生徒共に走ったり、朝や放課後に自主的に走ったりして、郡山市に貢献したいとの強い思いで時間を工夫して練習に取り組んできました。

当日は、「郡山一中」の名前を県内に発信することができました。11月18日（金）の昼の校内放送で当該2人を全校生徒に紹介し、みんなで応援していたところでもありました。

本当に2人の大活躍に大きな拍手を送りたいと思います。優勝おめでとうございます。



高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会

11月18日（金）、読売会館よみうりホール（有楽町）で高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会が開催されました。本校から3年木村君が全国27人のうちの1人に選ばれ、堂々と発表してきました。支部、県大会を勝ち進むことはもとより、本大会に出場するためには、全国4地区からそれぞれ7人程度に選ばれなければなりません。木村君は、北部日本地区38校から7校に絞られた中に見事選ばれ、本大会に出場することができました。今回の大会を通して、「素晴らしい経験ができました。ありがとうございました。」との報告を受けました。誰もが経験できるものではありませんので、ぜひ、今後の生活に活かしてほしいと思います。頑張りました！！